市民公開講座 | おきなわ津梁ネットワーク

司 会 実行委員長 (JART) 富田 博信 司 会 実行委員長 (JSRT) 奥田 保男

11月3日(日) 13:40~15:00 第5会場

①沖縄県民の健康を護るEHRを目指す おきなわ津梁ネットワーク

沖縄県医師会

津梁ネットワーク担当理事 比嘉 靖

県民の健康維持から安全な治療を支えるEHRを目指す「おきなわ津 梁ネットワーク」の成り立ちから現在の状態, 今後に目指して行く末につ いて述べさせていただきます. 特に発症予防のためのツール, 高いレベ ルの治療を身近な病院で受けられるシステム、安全な検診、検査、治療を 受ける為の放射線被ばく量管理システムなどについても触れていきたい と思います.

②沖縄で日本初の試みを

一津梁ネットワークとの協働と将来一

量子科学技術研究開発機構 (QST)

神田 玲子

放射線検査では、医療目的とはいえ人に放射線を照射します. そのた め医療現場では個々の患者さんに合わせて検査の適用や照射条件を判断 し、便益(診断)とリスク(被ばく)のバランスを最適化しています.

こうした医療現場での最適化を助け, 過度な線量を用いた検査を減ら すために、QSTでは、撮影条件等のデータを収集・管理するシステムを 開発しました. 特にCTでは患者さんの被ばく量も評価できます.

これまで研究ベースで運用してきましたが, このたび地方自治体としては初の試みとして「お きなわ津梁ネットワーク」と連結することになり ました.これにより、患者のみなさまにより安心 で安全な放射線検査の提供が可能になります.



JIRA ワークショップ

被ばく線量管理システムのさらなる普及に向けたユーザ側とメーカ側の連携

会 金沢大学 松原 孝祐 司 会 コニカミノルタ株式会社 長束 澄也

10月31日(木) 14:10~16:00 第6会場

①線量情報に関する DICOM 規格動向

株式会社千代田テクノル 四方田 宏祥

②線量管理システムへ記録される情報とその活用 バイエル薬品株式会社 山内 ③線量管理システムの学術的動向

倉敷中央病院 福永 正明

4 医療被ばく低減施設における線量管理の実際

ベルランド総合病院 鈴木 賢昭

JSRTとJIRAは、毎年のJSRT総会学術大会・秋季学術大会でJIRAワークショップを開催し ています. 毎回ユーザ側とメーカ側の双方にとって関心の高いテーマを設定し、それぞれの 演者が関連する内容の講演を行った後、課題に対する取り組みの検討を行っています. 2024 年4月のJSRT第80回総会学術大会のJIRAワークショップでは、「放射線機器の安全管理に関 する最新動向および取り組み」をテーマとし、X線装置を中心にした受入・不変性試験の重要 性と課題に関して活発な議論が行われました.

今回の記念すべき第1回JCRTM (第52回秋季学術大会) のJIRAワークショップでは, これ までJSRTとJIRAで取組んできたテーマから領域を拡げるとともに、JART会員にとっても 関心のあるホットなテーマを検討した結果、2020年4月に施行された医療法施行規則の改正 により、医療放射線に係る安全管理が求められている線量管理をテーマとして選定しました.

当日は、JIRAの演者2名(医用画像システム部会DICOM委員会,放射線・線量委員会)か らメーカ側の取組み (線量情報に関するDICOM規格動向, 線量管理システムへ記録される情 報とその活用) を紹介した後に,線量管理システムの学術的動向(JSRT)と医療被ばく低減施 設における線量管理の実際(JART)をお話しいただき、さらなる普及に向けたアクションを 議論したいと考えています. 多くのJSRT, JART会員からのご意見をいただきたく, 是非ご 参加いただきますようお願いします.

司会



孝祐



長束 澄也



四方田 章裕



山内 宏祥 福永 正明



鈴木 賢昭



乳幼児撮影台 パステル

乳幼児の X 線撮影を安全に素早く行うための専用撮影台 不必要な放射線を防ぐため、確実に保持し、

お子様の負担が少なくなるよう最大限の配慮をしています。











株式会社 大林製化所

ankyo 三共医療機株式会社

〒332-0002 埼玉県川口市弥平2丁目15-15 TEL 048-222-3800 FAX 048-222-4074

〒547-0002 大阪市平野区加美東6丁目14-22 TEL 06-6794-1600 FAX 06-6794-1606







(obayashi group)

大林製作所